Vol.172
2026年10月15日発行
（令和8年）

議会だより しらたか

9月定例会
山形県白鷹町議会



魂を揺さぶる音色とリズム

白鷹中学校 吹奏楽部
定期演奏会

14ページに関連記事

定例会の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ここが聞きたい 一般質問で町政を問う ・・・・・・・・・・ 4
予算は適正に執行されたか 令和７年度決算審査 ・・・・ 6
豊かな暮らしを支える力 政策提言 ・・・・・・・・・ 18

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

UD
白鷹町議会

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

定例会の概要

９月定例会

定例会は９月３日から11日までの９日間で開かれ、本会議と決算特別委員会・予算特別委員会で審議した議案は、すべて原案のとおり可決しました。

会議の種類

- ●本会議
- ●議会運営委員会
- ●予算特別委員会 13ページ
- ●決算特別委員会 ６ページ
- ●全員協議会
- ●総務厚生常任委員会 15・17ページ
- ●産業建設常任委員会 16ページ
- ●ふるさと森林公園再整備特別委員会 17ページ
- ●議会広報特別委員会

本会議の主な議事内容

●諸般の報告（知事と町村議会議長との意見交換会の内容などが報告されました。）
●行政報告（７月の豪雨への対応状況について報告されました。）

●令和８年度各会計補正予算案について提案があり、可決しました。13ページ
・一般会計　・国民健康保険特別会計　・介護保険特別会計
・後期高齢者医療特別会計　・水道事業会計　・下水道事業会計

●令和７年度各会計の決算認定について提案があり、承認しました。６ページ
・一般会計　・十王財産区特別会計　・国民健康保険特別会計
・介護保険特別会計　・後期高齢者医療特別会計　・水道事業会計
・下水道事業会計　・町立病院事業会計

●新たな人事について提案があり、同意しました。14ページ
●特定の事務を取り扱う郵便局の指定について提案があり、可決しました。14ページ
●条例の制定・改正等（５件）について提案があり、可決しました。14ページ

一般質問 ～ここが聞きたい～

●**竹 田 雅 彦 議員**
【女性活躍推進の環境づくりをどう進めていくのか】４ページ
●**横 山 和 浩 議員**
【持続可能な公共施設等マネジメントについて】５ページ

決算審査

令和７年度予算は適正に執行されたか

９月９日に決算特別委員会を開会し、令和７年度の予算が町民の安心安全な生活の確保に向けて適正に使われたのかを審査しました。

決算結果（一般会計）

①歳入の総額	１１１億８６３２万円
②歳出の総額	１０５億　６９６万円
③翌年度へ繰り越す財源	６１２１万円
●実質収支額（①－②－③）	６億１８１４万円

※万円未満は端数調整

詳しくは６ページから

補正予算

令和８年度補正予算を可決

◆マイナンバーカードの更新が郵便局で可能に
◆小中学校・スポーツ施設の照明ＬＥＤ化の準備
◆物価高騰への対応
◆町道を維持するための補修
◆７月豪雨災害への対応

など　一般会計補正額　　３億２０７０万円

詳しくは13ページ

人事

新たな人事に同意

◆白鷹町教育委員会委員

任期満了による、新たな白鷹町教育委員会委員（１人）の任命に同意しました。

詳しくは14ページ

一般質問とは、議員が町政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、政策の提言や質問をすることをいいます。

女性活躍推進をどう進めるのか

町長　活躍できる環境づくりに総合的に取り組む

録画を配信



竹田雅彦（たけだまさひこ）議員

第3次白鷹町男女共同参画計画の策定

令和8年度から10年間の計画が策定された。依然として、女性の職場での地位や各種団体での役員等々、地域における意思決定の場への女性参画が課題となっている。

女性活躍推進

問　環境づくりをどう進めるのか。

町長　働きやすい環境の整備」「地域社会への参画推進」「研修会等による普及活動」の3分野を重点に、活躍できる環境づくりに総合的に取り組む。

施策の周知

問　若者アンケートでは町の子育て施策等が認知不足という結果。どう周知していくのか。

企画政策課長　情報発信は仕組みが重要。町SNSのフォローキャンペーンを行い、町の情報や里帰り喚起等の内容を投稿している。フォロワーが1200人ほど増えている。

起業・創業支援の拡充

問　女性の起業支援も含め、創業支援事業を拡充できないか。

商工観光課長　令和7年度は7件の交付を行い、5件が女性。今年度も2件交付し、いずれも女性であり、ここ数年女性が多いため、拡充は考えていない。

男女共同参画

問　地域等の役員への女性参画が少ない。どう認識しているか。

企画政策課長　歴史や慣習的なところもある。今後、地域で役職の見直し等を行っていただかないと進まないと思う。地域の皆さんと一緒に啓発等していきたい。

問　家庭などでの理解や意識の変革も必要。どう進めていくか。

企画政策課長　若者アンケートから、男性の家事への参加が増えている。年代的なところもあるが、子育て世代を中心に、研修会等を開催し意識啓発を行っていく。

問　各地区にモデル地区を選定するなど、女性参画の数値目標を掲げてはどうか。

企画政策課長　目標数値は設定していないが、取り組みをいかに実効性のあるものにするかが重要。役員会等への同席や参加から始めていくことが大切。理解のある地域と一緒にやっていきたい。

女性の声を施策へ

問　会議で出た女性の意見が施策に反映されるような仕組みづくりはできないか。

町長　女性の声を施策に反映させていくことは、まちづくりに欠かせない視点。女性が参加しやすい環境をつくることが大事。また反映できたかどうかの検証と対応も信頼につながると思う。女性をはじめさまざまな町民の皆さんと対話を重ね、参加型の政策形成ができるよう、進めていきたい。

問　会議時に、どうすればいいか等、相談できるアドバイザーも必要ではないか。

町長　聞きっぱなしではなく、キャッチボールできるような意見交換にしたいと思うので、検討したい。



がんばる女性起業家

私もひとこと

いろんな世代の女性が発信できる会議を、ぜひ開催して欲しい。（40代女性）

公共施設の縮減を未来への投資に

町長　未来につなげる視点で進めたい

録画を配信



よこやまかずひろ
横山和浩 議員

全ての公共施設等を、これまで同様に維持することは困難と想定されている。将来の方針について質問した。

【公共施設等総合管理計画】

実績の評価は

問　管理計画によれば、公共施設等の更新費用は今後30年で648億円を超え、全てをこれまでと同様の方法で維持することは困難と想定している。一方では新たな投資も必要。

管理計画に対する実績の評価と次期計画の考え方は。

町長　管理計画全体の進捗を確認・共有する機会はもうけず、施設ごとに維持管理費などを把握し、検証・判断してきた。施設の統合や長寿命化など、一定の施設マネジメントが図られたと認識している。

次期計画では、町民サービスや地域の拠点維持、財政負担の軽減・平準化とのバランスが重要と考えている。

判断基準

問　次期計画では、施設統合等の判断基準を明確にするのか。

町長　計画期間中に耐用年数を迎える施設は廃止を前提に検討するなど、一定の条件をもうけることも考えられるが、具体的な方向は改定作業の中で検討していく。

問　施設の統合等にあたり、町民と問題意識を共有する体制は。

町長　町民の皆様から十分な理解を得ることが何よりも重要。

総務課長　施設の大規模な統合等が想定される際や、町民の皆様の利便性等に直結するような課題発生において、経過や見通しを共有し議論いただくような場を想定している。

【スポーツ公園】

スポーツセンター構想

問　管理計画で示すスポーツ交流館の耐震化と、関連でスポーツセンター構想の状況は。

教育長　管理計画ではスポーツ交流館の耐震化を目標としているが、施設のあり方の検討が進んでおらず、耐震化の調査も進んでいない。

教育次長　スポーツセンター構想の策定から十数年が経過し、社会情勢も変化した。持続可能なスポーツ環境整備に取り組めるよう、構想の見直しを図りたいと考えている。



どうなるスポーツ交流館

【未来への投資】

縮減を未来への投資に

問　施設の縮減等により生まれる財源や人員を未来への投資に向ける、という視点を明確に持っていただきたい。

町長　縮減や統合は、必要な行政サービスと持続可能な行財政運営を維持するための手段である。生み出される財政的・人的資源は、単なる経費削減で終わらせず、重点施策や新たな行政課題に積極的に振り向ける。

町民の理解を得ながら限られた資源を未来への投資につなげる視点を持ち進めたい。

私もひとこと

縮減の先にどんな地域をつくるのか。行政と住民が本気で対話し未来を考えたい。　（40代男性）

令和7年度予算は適正に執行されたか

決算特別委員会

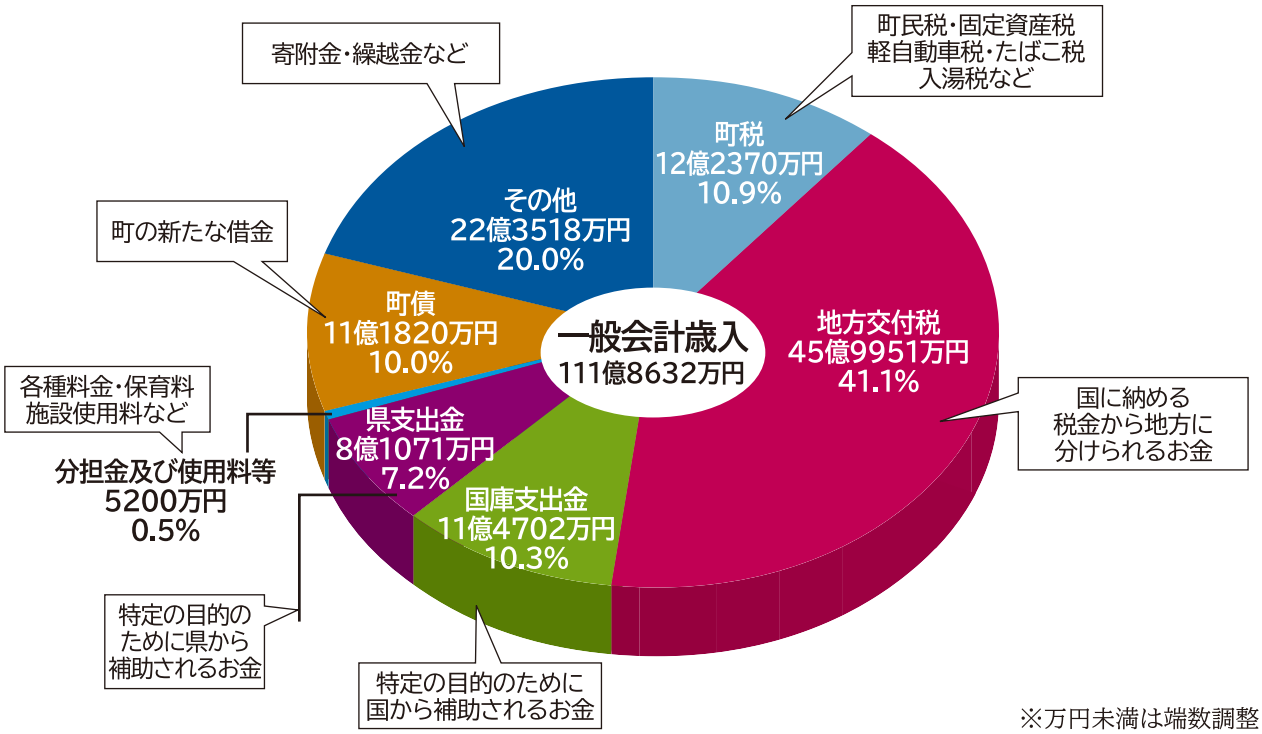
議員視点で決算を審査

議会で可決した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、審査しました。審査の結果は、次年度以降の予算編成や行政執行に活かされます。

各会計決算の議決状況

会計項目			歳入(収入)	歳出(支出)	議決状況
一般会計			111億8632万円	105億 696万円	全員賛成により認定
特別会計	十王財産区		270万円	31万円	
	国民健康保険		13億4788万円	12億9255万円	
	介護保険		16億8704万円	16億4687万円	
	後期高齢者医療		2億1747万円	2億1270万円	
事業会計	水道	収益的	2億7768万円	2億9308万円	
		資本的	1億5498万円	3億3409万円	
	下水道	収益的	5億7185万円	5億7262万円	
		資本的	1億4766万円	3億3492万円	
	病院	収益的	12億8498万円	12億7178万円	
		資本的	3億7865万円	4億7978万円	
合計			172億5721万円	169億4566万円	

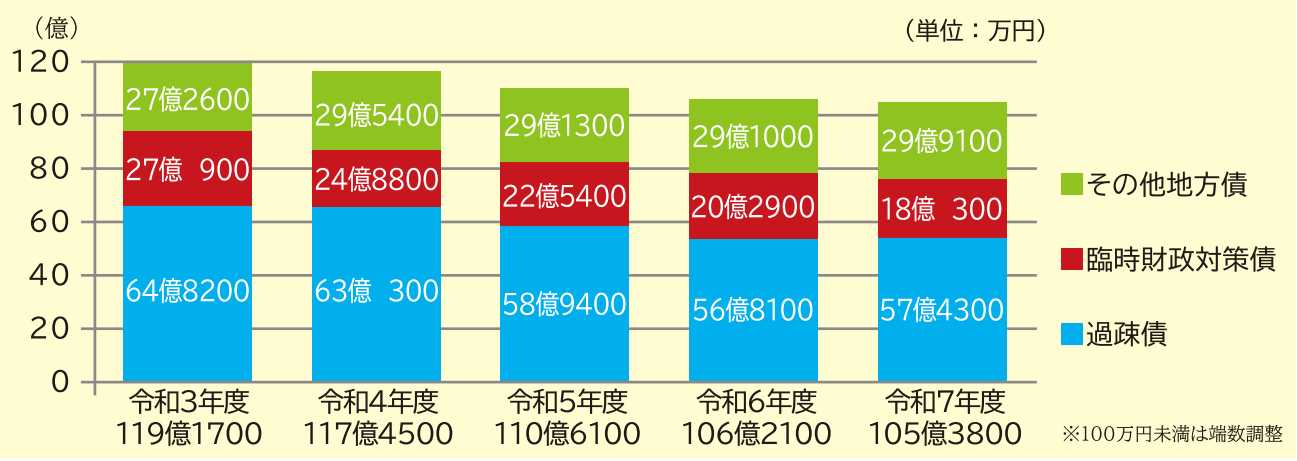
※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。
※万円未満は端数調整



※万円未満は端数調整

地方債（借金）残高の状況

●地方債とは、町が会計年度を超えて行う借入れのことです。



■その他地方債とは

災害復旧や教育福祉施設整備などのための借り入れ。返済額の一部は普通交付税として国から町に交付される。

■臨時財政対策債とは

国の財源不足を補うための地方の借り入れ。返済額の全額が普通交付税として国から町に交付される。

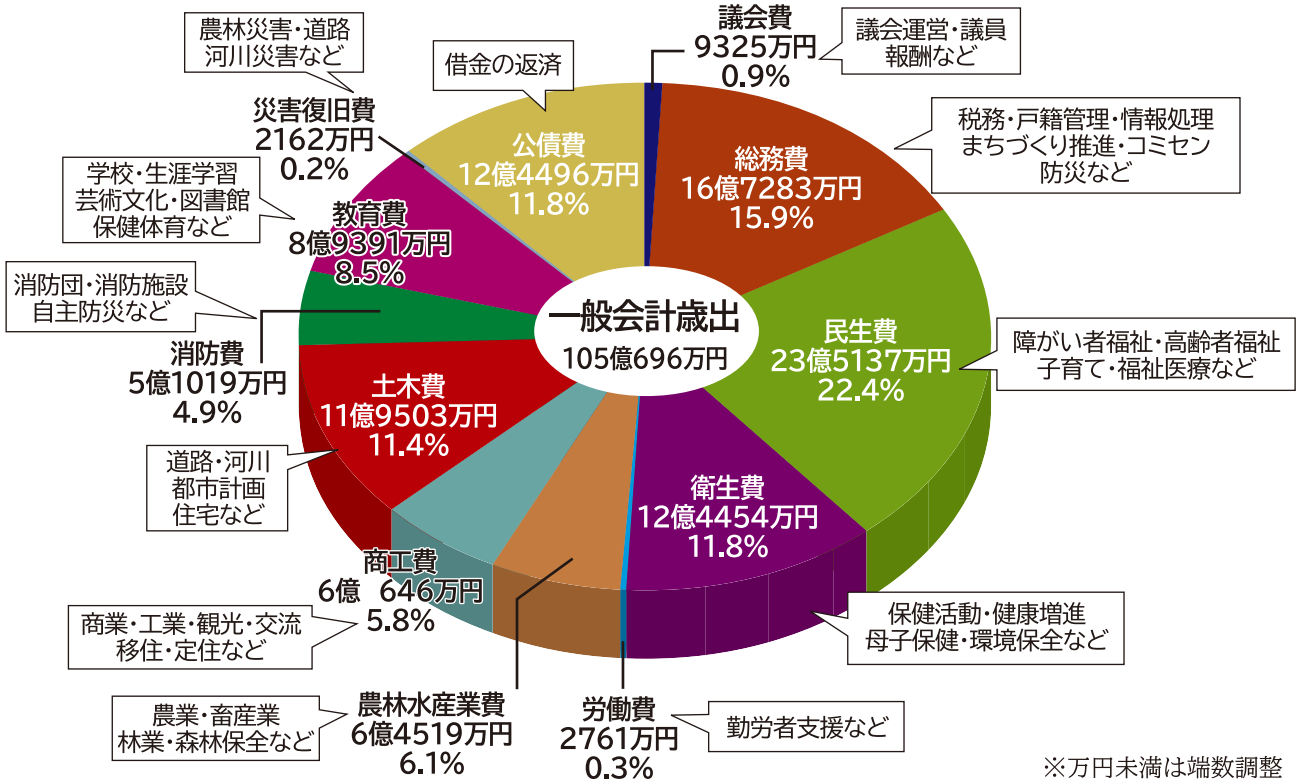
■過疎債とは

過疎地域にあたる市町村限定で、発行が認められる借り入れ。

返済額の７割が普通交付税として国から町に交付され、残りの３割を町が負担する。

白鷹町の財政力	区分・年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	説　　明
	財政力指数	0.269	0.269	0.268	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
	経常収支比率	92.2	93.1	90.8	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
	実質公債費比率	11.8	12.6	12.7	収入に対する負債返済の割合。

グラフで見る「収支それぞれの比率」



※万円未満は端数調整

決算質疑は8ページから

決算特別委員会

録画配信

一般会計

歳　入

〔町の収入〕

入湯税増収の要因は

衣袋委員　**当初予算では、前年対比でかなり低い割に、決算での収入済額が倍増している要因を伺う。**

税務出納課長　当初予算については、前年度の宿泊人数等が下がっている状況を参考として、予算を計上した内容となっている。

商工観光課長　令和7年度のパレス松風の利用者は、前年度より約5700人の増となり、宿泊は約3800人の増となっている。要因としては、新たな情報発信の強化などによる利用者の増加が入湯税の増加に寄与したものと考えている。

森林再生基金の繰入

丸川委員　**森林再生基金繰入において、収入済額が予算現額より65％ほど減額になっている理由を伺う。**

林政課長　境界明確化の筆界想定図の策定において、特別交付税を使った方が有利ではないかとなり、基金を活用しなかったため。

丸川委員　**今後この基金を主にどのような事業に活用していくのか。**

林政課長　森林整備の下刈り事業は町独自で補助している部分があり、それを続けていくための活用が一番大きいと考えている。



歳　出

〔町の支出〕

総務費

移住相談に30人超

笹原委員　**ふるさと移住プログラムの成果と実績を伺う。**

企画政策課長　首都圏で行った移住相談会には30人を超える相談があった。また、11人にしらたか若者移住定住交付金を支給した。8割がUターンだった。

監査意見

政策課題への計画的遂行と成果を評価する

令和7年度各会計決算は、施政方針に基づき、各施策が計画的に遂行され、おおむね期待された成果が得られたものと評価する。

一般会計における財政状況では、実質収支は6億1814万2千円の黒字となり、実質収支比率は11・3％となり前年比2ポイントの増加となった。

また、経常収支比率は前年度比2・3ポイント減少し、90・8％となった。

前年度に比べ、財政構造の弾力性が改善されたといえるが、今後とも、これら指標の推移を注視しながら健全な財政運営に努めていただきたい。

主な事業では、人材確保、子育て支援、教育のデジタル化、農業の担い手育成、産業の振興、定住化推進など、町の重要課題に対し、積極的に展開され成果が上がったものと評価する。

町を取り巻く情勢は、人口減少の急速進行、異常気象や気候の急激変動による災害や経済的損失への備えや対応、また、高度情報化社会への対応など複雑・困難化している。

健全な財政を堅持しつつ、町民の安心安全な生活と福祉の向上に、一層の努力を期待する。

代表監査委員　小谷部　仁

監査委員　今野　正明

コミュニティセンターの運営

竹田委員　**令和7年度からアルカディア財団に指定管理になった。成果や評価はどうか。**

企画政策課長　職員の給料体系、福利厚生などの充実が図られた。また、給与など事務が一本化し、職員の方々はより地域づくりへの取り組みに専念できたものと考えている。

コミセン間の人事異動

佐々木委員　**管理が財団に一本化されたことによる、コミセン間の人事異動に関し、地域の意見をくむ機会はあるのか。**

企画政策課長　コミセン事務局が財団の職員になったということで、財団と話をしていきたいと思うが、本人の意向もある。地域からの意見等もあれば参考にしていきたい。

電気自動車急速充電器


地域づくりに励むコミセン職員

佐々木委員　**役場に設置の充電器が見込みより利用が多い状況を踏まえ、道の駅への再設置の検討はできないか。**

総務課長　利用状況を見ながら、需要があれば道の駅全体としての考えの中で設置も検討になると思う。

デマンドタクシーの実績

衣袋委員　**令和7年度の町内便と延伸便の実績はどうだったか。**

企画政策課長　町内便は、運行日数が242日、延べ利用人数652人。延伸便は、運行日数が84日、延べ利用人数161人で1日平均0・66人。

衣袋委員　**町内便は順調に運行されているのに対し延伸便は少ないが、どのように捉えているか。**

企画政策課長　6年度より延べ人数が増えているものの少ない利用人数である。主に公立置賜総合病院の通院に利用されており、町民の大事な移動手段になっている。

衣袋委員　**置賜総合病院への通院に対し補助が限定的だが、福祉の観点から一般通院者への支援も必要と思うがどうか。**

企画政策課長　今後、健康福祉課など関係部署と検討していきたい。

山形鉄道不正送金詐欺等への対応

金田委員　**問題発生後、町に対し、経過・謝罪・責任の在り方などについて、報告があったのか。**

企画政策課長　山形鉄道からは、その都度経過等の報告をいただいている。

町長　会社としての責任はどうなっていくのか、しっかり確認していかなければならない。フラワー長井線は地域の大事な鉄道であり、山形鉄道に対し、しっかり働きかけていきたい。


地域の大事な鉄道

マルチワーク協同組合

横山委員　**特定地域づくり事業の成果を伺う。**

企画政策課長　令和7年度雇用目標4人を達成し、組合員への派遣により担い手不足の解消につながっている。

横山委員　**議員研修で、組合から町への労働者派遣について学んだ。当町で実施する考えはあるか。**

企画政策課長　自治体への派遣は一定の条件で可能。調整が必要である。

民生費

健紅ポイント

横山委員　**しらたか健紅ウェルネスポイント事業の成果を伺う。**

健康福祉課長　参加者の特に65歳以上の方の活動量が増え、介護予防に期待できると考えている。アプリで測定した歩数や情報を医師と共有することで指導や健康管理に生かせる可能性を見いだせた。

民生委員の負担軽減

丸川委員　**民生・児童委員の業務負担軽減に対し、どのように考えているか。**

健康福祉課長　負担軽減は、委員の担い手確保においても重要と認識している。国からも負担の見直しについて求められているので、関係各課で丁寧に進め、活動しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

衛生費

まだまだ迷惑猫が

笹原委員　**動物適正飼育対策事業の取り組みと成果を伺う。また、現在も苦情が寄せられているが今後の取り組みを伺う。**

町民課長　飼い猫の適正管理の推進と住民の生活環境向上を目的に不妊去勢手術の助成を行った。25件27匹に実施した。今後は地域で問題となっている事案に特化して取り組む。



ワクチン接種

笹原委員　**HPVワクチンおよび帯状疱疹ワクチンの対象者に対する接種者数を伺う。**

健康福祉課長　HPVワクチンは、小学6年から高校1年相当の女性235人のうち、111人に接種した。帯状疱疹ワクチンは65歳から5歳刻みで対象者1085人のうち、生ワクチンで128人、組み換えワクチンを348人が接種した。

笹原委員　**接種数を増やすための方策を伺う。**

健康福祉課長　個別通知のほか、町の公式ラインやホームページ、医療機関のポスターなどで周知する。

労働費

正社員化促進事業

竹田委員　**令和7年度の実績はどうか。**

商工観光課長　3人の奨励金として合計45万円を支給した。

竹田委員　**人材不足の中、企業の人材確保には、この制度は非常に有効だと思うが、今後の周知をどうするのか。**

商工観光課長　企業アンケート調査等の機会を捉え、個別にも周知をしていく。



農林水産業費

農地利用効率化等支援事業

金田委員　**地域計画の中で、地域の認定農業者への支援であるが、事業の実施内容を伺う。**

農政課長　コンバインやトラクターを導入する4つの経営体に対して支援を行った。自動操縦機能付きトラクターなど、最新の農業機械導入により、作業の効率化が図られた。



最新のコンバイン

置賜農業振興協議会等活動

金田委員　**協議会の活動状況を伺う。**

農政課長　置賜農業振興課、西置賜農業技術普及課が事務局となり、広域的に取り組む事項や地域課題に対する協議を行っている。

金田委員　**協議会に対する負担金の支出および取り組みによる効果を伺う。**

農政課長　新農業人フェア等での新規農業者確保など、当町の農業振興に効果がある取り組みがされた。

6次産業化施設整備

佐々木委員　**土地造成が完了したが利用者の見通しが立っていない状況とのこと。機能を見直すとは具体的にどういうものか。**

農政課長　商品を開発する際の機器や人の導線の課題と、衛生管理上の問題はないかなど見直しと調整を行っている。

森林整備、三鷹市との連携

佐々木委員　**三鷹市からの負担金での再造林事業が今年で終わる。三鷹市に来年以降も継続の意向はあるのか。**

林政課長　今後も続けたいとの意向を聞いている。まだ決まったことではないが、その方向性で整備する場所を選定していきたい。

商工費

国際交流事業

山田委員　**国際交流事業委託料の実績が、当初予算比大幅減の理由は。また、今後の同事業の見通しを伺う。**

商工観光課長　中国との子どもスポーツ交流を予定していたが、中国側からの申し出により実現しなかった。交流事業は継続していきたい。

町長　町内の外国人労働者は年々増えており、その方々と地域をつなぐ役割も国際交流協会には求められている。

鮎は増えたか

竹田委員　**鮎の漁獲量は、令和6年度は1197匹だったが、7年度はどうだったのか。**

商工観光課長　335匹と過去最低であった。

竹田委員　**激減となった要因は何か。今後の取り組みはどうか。**

商工観光課長　ブラックバスやカワウの影響だけではなく、近年の高温や大雨など、川の状況も厳しい環境にあり、複合的に重なってこのような状況になったのではないかと思う。自然相手でもあるが、これまでの取り組みを行っていく。

土木費

除雪車運転の担い手確保

佐々木委員　**これまで町の補助金を活用して免許を取得された方々は、現在も運転手として活躍されているのか。**

建設課長　令和5年から合わせて9人に支援してきた。そのうち4人が町道除雪に従事している。他の方々は駐車場施設などで慣れてから町道に移行すると聞いている。

消防費

消火栓設置と備品への補助

丸川委員　**消火栓工事負担金について、令和7年度の内容はどのようなものか。**

総務課長　消火栓の更新8か所を実施して、その負担金として支出した。

丸川委員　**消火栓に付属する備品等を更新する場合の地元への補助の方向性を伺う。**

総務課長　備品等の管理は基本的に地元にお願いしている。平成30年度に地元に要望調査を行い、備品の更新等の支援を行っているので、その経過も踏まえ検討は必要と考えている。



守れ町民の安全

交付金に防災対応分

笹原委員　**地域づくり推進交付金に地域防災対応分が新設されたが成果を伺う。**

総務課長　消防団の運営費を町で負担することで地区の負担軽減になった。また、防火長靴も整備され消防力の強化につながった。

教育費

荒砥高校活性化事業

横山委員　**生徒確保や地元定着等の成果を伺う。**

教育次長　入学生が13人増え、運転免許取得費支援の対象者が3人増加した。追跡調査も検討しながら今後の支援の方向性を協議したい。

教育支援室の成果

笹原委員　**教育相談事業の取り組み成果を伺う。**

教育次長　学校に足が向かない子どもたちのための居場所や学びの場となる、場所を限定しない「あっとい～す」という教育支援室を設置し、生活支援や学習支援を行った。利用者は出席扱いとなる。

町駅伝大会の今後

佐々木委員　**町誕生記念駅伝競走大会の開催に際し、選手やスタッフの確保に大きな地域差が出ている。今後の開催方針を伺う。**

町長　合併以来続いており、スポーツ振興の面でも大事な大会である。地域により格差が出ていることは承知しているが、競争という形にこだわりながら、やり方を工夫し皆様の総意を尊重して継続していきたい。



工夫して継続を

特別会計

介護保険

地域包括支援センター運営

竹田委員　**令和7年度から町社協に運営が委託された。どういう成果があったか。**

健康福祉課長　職員が地域へ直接出向き、各高齢者の状況に応じた支援を行っていただいた。また高齢者便利帳を作成し、高齢者世帯を中心に配布をしていただいた。地域との関係が深まり、相談支援、介護予防および地域づくりを一体的に進める体制が整ってきたものと捉えている。



公営企業会計

下水道事業会計

転換数と普及率

丸川委員　**単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換には町の補助制度があるが、令和7年度までの3年間の転換状況はどうだったか。**



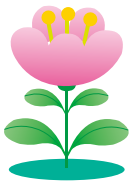
上下水道課長　支援については、転換時の補助、宅内配管への補助等があり、令和5年度8基、6年度12基、7年度11基となった。

丸川委員　**合併処理浄化槽の令和7年度までの3年間の普及率を伺う。**

上下水道課長　公共下水道を含む生活排水処理施設のうち、合併処理浄化槽の構成比率は令和5年度19・2%、6年度19・4%、7年度19・5%となっている。

丸川委員　**普及率は年々上昇しているが、合併処理浄化槽への転換に向けた取り組み状況はどうか。**

上下水道課長　広報紙等でお知らせし、対象となる方へ町の補助制度の紹介を含め文書等で案内をしている。今後も転換に向けた取り組みを進めていきたい。



※ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に全てが満たされた良好な状態

賛成討論

町民のウェルビーイング※の向上を



竹田雅彦 議員

町税は、都市計画税の課税が停止したが、国の定額減税の終了等により令和6年度より2689万円増加し、収納率も97・0%と0・7ポイント上昇した。ふるさと納税も返礼品の条件変更があったものの6702万円となった。今後も収納率の向上、寄付額増へ取り組んでいただきたい。

各施策では、白鷹町社会福祉協議会と連携した地域包括支援センターの運営により、高齢者の総合相談支援を推進した。

全町民への生活応援券の配布や省エネ設備導入への補助など、物価高対策に取り組み、一定の成果があった。

地域づくり推進交付金に「地域防災対応分」が新設され、資機材支援や地域の負担軽減につながった。

小中学校の一人一台端末の更新や町立図書館に小中学生向けの図書整備が行われた。教育環境の更なる充実に期待する。

移住コーディネーターの新設や、マルチワーカーが5人雇用されるなど、今までの取り組みが着実に結果に結びついている。地域の活性化に期待する。各事業の効果を常に検証し、町民のさらなるウェルビーイングの向上のため、各施策の目標達成を切に望む。

将来を見据えた事業

一般会計補正予算の主な内容

マイナンバーカード交付事務費補助金　２５８万円
郵便局でカードの更新などができるようになります。P14参照

冬の生活応援事業　３９０万円
灯油等購入費助成が追加されました。

調理場設備整備事業　５７５４万円
空調設備等の整備、運用面の改善等を行います。

小学校施設改修事業　２９５万円
照明器具のＬＥＤ化に向けた調査を行います。

中学校施設改修事業　２９５万円
照明器具のＬＥＤ化に向けた実施設計を行います。

保健体育施設費（委託料）　２００万円
スポーツ施設などの調査を行います。

ふるさと森林公園整備事業　５００万円
再整備に向けた浴室老朽度調査を行います。P17参照

林業豪雨災害復旧事業費　１００万円
道路河川豪雨災害復旧事業費　３０００万円
７月豪雨災害で壊れた箇所の復旧工事です。

など、３億２０７０万円を補正し、一般会計総額は１００億７９９０万円となりました。

◎財源は、国・県支出金、寄付金、繰越金、諸収入、町債などで対応。

※万円未満は端数調整

７月30日に発生した豪雨災害への対応をはじめ、物価高騰への支援、近年の猛暑に備えた学校給食調理場への空調設置、ふるさと森林公園再整備に向けた老朽度調査、公共施設の老朽化対策など、緊急性の高い事業に必要な予算を可決しました。

補正予算の主な質疑

衛生基準に沿う改善

横山委員　調理場の運用面の改善等はどういう団体に委託するのか。

教育次長　国の学校給食衛生管理基準に基づき、施設環境の維持管理手法の具体化等、運用の見直しや改善を進めるため、全国の自治体を支援している専門家へ委託する。

横山委員　調理を担うアルカディア財団や栄養教諭と連携し、現場の意見を踏まえて検討を進めるのか。

教育次長　調理を行う財団職員と、献立作成や学校の給食指導に当たる栄養教諭との連携は不可欠である。引き続き現場の声を聞きながら様々な課題に対応していく。



衛生管理を万全に

学校照明のＬＥＤ化

笹原委員　小中学校ＬＥＤ化の調査と設計はすべての照明器具が対象か。

教育次長　小学校全校の調査と、中学校はＬＥＤ化している体育館を除いた施設の実施設計を行う。

佐々木委員　蛍光管だけの交換はできないのか。

教育次長　事故防止の観点から器具ごと交換する。

条 例

●白鷹町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の設定

国の基準の改正に伴い、条例の全部を改正する。

●白鷹町町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、所要の整備を行う。

※改正一例：固定資産税の免税点

家屋を20万円から30万円に、償却資産を150万円から180万円に引き上げる、など。

●白鷹町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正

課税免除及び不均一課税について、所要の整備を行う。

●白鷹町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、所要の整備を行う。

●白鷹町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

病床数の適正化を図る（57床⇒53床）。

人 事

●白鷹町教育委員会委員の任命

前任の任期満了に伴い、後任を任命することに同意した。

（任期：10月1日～令和12年9月30日）



齋藤（さいとう）　真恵（まさえ）　氏（新任・荒砥乙）

指 定

●白鷹町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定

1　指定する郵便局

荒砥郵便局、鮎貝郵便局、浅立郵便局および蚕桑郵便局

2　取り扱う事務

個人番号カード用署名用電子証明書（通称マイナンバーカード）の発行申請、署名利用者確認書類の受付、カードの引き渡し、失効の手続きの申請受付

3　指定期間

10月1日～令和9年3月31日

表紙

魂を揺さぶる音色とリズム

白鷹中吹奏楽部 定期演奏会



3年生8人、1年生6人で、土曜日は白鷹ジュニアクラブとして練習を重ねています。地域の演奏家である荒高卒業生を主とした10人程による指導のもと、地域行事や荒高との合同演奏・大会出場と活躍しています。

部活では出会えなかった地域の方々と音楽の感動を共にすることが、厳しい練習を通じた充実感につながっているようでした。

総務厚生常任委員会　9月7日

障がい者に寄り添う体制づくりを

「白鷹町第8期障がい福祉計画及び第4期障がい児福祉計画の策定」について説明を受けた

【策定の趣旨】
現行の利用状況やニーズを踏まえ、次期計画の目標を設定し、障がい福祉サービスおよび障がい児通所支援等の提供体制を、総合的かつ計画的に確保することを目的に策定する。計画期間は3年間。

【これまでの課題】
町外の居宅介護事業所を利用しなければならないことや、放課後デイサービスの利用が増加しており、実態をより分析する必要がある。地域生活移行や就労支援の推進、地域生活支援拠点等の整備状況に課題がある。

【基本的な考え方】
①障がい者等の自己決定の尊重と意思決定の支援
②地域生活支援拠点等を整備し、包括的な支援体制を構築
③入所等から地域生活への移行・地域生活継続の支援・就労支援等の課題に対応したサービス提供体制の整備
④障がい児の健やかな育成のための発達支援

【計画の推進体制】
○自立支援協議会を中心に、関係機関・団体によるネットワークを構築する。
○年度実績を把握し、明るい健康都市づくり推進会議へ報告する。



質疑

家族への支援

衣袋委員　**家族に対する支援も計画に含まれるのか。**

当局　含まれる。家族が入院になった場合など、関係機関と相談しながら対応していきたい。

相談体制の強化

竹田委員　**基幹相談支援センターの設置について、町は広域で整備する意向だったと思うがどうか。**

当局　国の方針では市町村ごとに整備するとなっており、現在体制整備を進めている。総合的な相談を受け止める場所であり、町の役割を明確にしていきたい。

健康寿命の延伸と社会参加の促進

「白鷹町第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画　策定方針」について説明を受けた。

【策定の趣旨】
将来的に町民の約半数が高齢者となることが見込まれる。
介護保険事業計画と高齢者保健福祉計画を一体的に策定する。また、認知症施策推進計画を新たに策定し本計画と一体的に推進する。計画期間は3年間。

【策定の基本方針】
①健康寿命の延伸と社会参加の促進
②地域での暮らしを支える地域包括ケアの充実
③認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくり
④権利を守り、安心・安全に暮らせる環境の整備
⑤持続可能な介護・福祉基盤の構築

【拠点施設】
多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設（しらたかまるん）を介護予防の中核として位置づける。

【策定体制】
健康福祉課を事務局とし、課内ワーキングで素案を作成。関係各課等で構成する検討委員会で協議し、「白鷹町明るい健康都市づくり推進会議」に諮る。



質疑

推進会議での意見

竹田委員　**これまでの明るい健康都市づくり推進会議で出された意見はどのようなものか。**

当局　介護施設の運営も厳しくなることや、人材確保についての意見などもいただいた。

成年後見制度

竹田委員　**成年後見制度の利用促進については、身寄りのない方への対応も計画に含むのか。**

当局　身寄りのない方への対応も含めていきたい。

その他
○白鷹町国民健康保険の運営状況について
○山形鉄道株式会社の状況について説明があった。

産業建設常任委員会　9月8日

進むか木材の成長産業化

「白鷹町森林（もり）とつながる暮らしビジョンの策定」について説明を受けた。

【計画策定の背景】
町はこれまで木造の公共施設整備を進め、県内の林業をけん引してきた。
森林資源の活用と循環を重視した現行計画を継承し、国や県の計画と連携しつつ、町独自の方向性や地域性を反映した計画とする。

【計画期間】
令和9年度から13年度までの5年間。

【策定の視点】
①持続可能性、多様性
②木材の成長産業化
③人材の確保と育成
④森林学習・木育の推進

質疑

産業化は進むか

横山委員　**素材生産量は目標を上回っているが、素材だけで産業化が進むのか。進捗を把握する指標を次期計画に入れるのか。**

当局　木材生産割合のほか川上から川下で目標を設定し、指標は状況に合わせ変更する。

木材乾燥施設の採算

山田委員　**木材乾燥施設は機能し、採算は取れているか。**

当局　事業者と連携し、※JAS製品の販売に動き出した。それらを積み重ね経営の健全化をはかっていく。

※JAS製品
日本農林規格に適合した製品

町民意識向上と参画

金田委員　**町民の意識向上や参画の取り組みを計画に盛り込むか。**

当局　多くの町民の意識を高めるため、広く広報活動に努める。



昭和63年以来の水道料金改定へ

「今後の水道事業」ついて説明を受けた。

【水道料金改定】
令和7年4月の浄水場事故や漏水対応、物価や人件費の上昇により、水道事業の経営環境は一段と厳しくなっている。
令和9年度以降は毎年2・5%の料金改定を基本に検討する。社会情勢の変化や広域化の議論を踏まえ、計画全体を評価し見直す。

【関連業務体制強化】
今後も町が責任を持って事業を進めるため、令和9年度から津島台浄水場の運転管理、検針、漏水修繕、水道料金徴収などを、水道技術管理者資格を持つ職員を配置することができる法人へ一括委託する方向で取り組む。

質疑

丁寧な説明が必要

横山委員　**毎年2・5%改定は令和6年度に示されたが、その後の経営状況や物価高騰を見込んでいるのか。料金を据え置いた場合の影響や、町民への丁寧な説明をどう進めるのか。**

当局　社会情勢の変化や広域化の検討状況を踏まえ、見直しと検証を進めながら丁寧に説明していきたい。

新法人で一元管理

金田委員　**水道技術管理者を配置できる法人とは、どのような事業者を想定しているのか。**

当局　水道技術を幅広く理解し、一元的な管理を任せられる法人を想定している。管路や施設をまとめて管理できるため、業務の効率化につながる。



その他
○令和8年度の除雪事業について
○白鷹町町営住宅等長寿命化計画の策定について
説明があった。

総務厚生常任委員協議会　8月26日

2つの小学校で複式学級が目前に

「これからの学校教育のあり方をふまえた小・中学校の配置計画の検証」について説明を受けた。

【背景と概要】

蚕桑小学校は令和10年度、東根小学校は令和12年度から複式学級が想定されている。現行の学校配置計画が15年経過し、人口減少のほか地域のあり方、学習環境等、社会情勢が大きく変化しており、学校教育のあり方が実情に合っているのか検証を進める。

【検証の進め方】

①保護者、学校、地域等からの意見聴取
・保護者等アンケート
・4学校区で保護者、地域の方を参加対象に意見交換会
②検討委員会を設置し、意見を踏まえて協議

《委員構成》
・学校保護者代表
・保育園等保護者代表
・各小学校区地域代表
・有識者等

【今後の進め方】

10月・検討委員会開始
　・保護者アンケート
11月・意見交換会(保護者)
12月・意見交換会(地域)
2月・総合教育会議
　(検証結果の確認)
3月・議会と教育委員会に検証結果の報告



質疑

町民からの意見

竹田委員　**移動町長室ではどのような意見があったか。**

町長　少子化の中で統合に前向きな意見や、具体的に地区名を指定した学校の配置要望などもあった。

意見交換会

佐々木委員　**4校区での意見交換会は、保護者のほか地域の誰でも参加できるのか。**

当局　各代表者だけではなく、幅広く地域の方に参加いただきたいと考えている。

その他
○調理場空調設備等整備に係る今後の方向性について
など、説明があった

ふるさと森林公園再整備特別委員会　8月26日

調査の先に何が見えるか

「浴室棟構造体調査業務」について説明を受けた。

【概要】

再整備事業費が増える現状を踏まえ、町民保養センター機能（入浴施設）の維持・継続の視点から、浴室棟および本館棟を残した整備手法も含め検討する。

浴室棟は今年度で法定耐用年数を迎えることから、構造体の劣化状況を調査し、建物の現状を把握したうえで、整備手法や財源確保に向け事業内容を再検討する。

質疑

再整備の方向性は

丸川委員　**再整備の方向性決定はいつ頃か。**

当局　町民からさまざまな意見があり、調査後すぐに結論が出るとは限らず、全体の再整備には時間がかかる。

公園全体の整備は

笹原委員　**公園全体への整備の考えは。**

当局　町の観光全体という視点で幅広く考えていく。

現在の利用状況は

竹田委員　**宿泊の利用状況は。**

当局　宿泊は再開から7月末まで788人が利用し、想定以上の感触がある。

今後の事業は

今野委員　**今後の事業をどう考えるか。**

当局　健康増進など役割を踏まえ、財源も含め何が最善か検討し、町民に説明していく。

衣袋委員　**指定管理料への影響は。**

当局　温浴施設と公園管理に対する管理料であり、影響はない。

なぜ再調査か

関委員　**以前も老朽度調査をしている。なぜ再調査が必要か。**

当局　以前の調査では構造体など見えない部分は調査しておらず、詳しく調査する。

実施設計は白紙か

佐々木委員　**これまでの実施設計は白紙か。**

当局　宿泊棟などは部分ごとに生かせると考えている。浴室棟は今回の調査で使用できるか見極める。

令和９年度政策提言（令和８年８月26日）

2. ふるさと森林公園再整備

・各観光拠点施設の役割と将来像を整理し、戦略の方向性を示すこと。
・道の駅ヤナ公園がさらに魅力ある施設となるよう検討を進めること。
・ふるさと森林公園の再整備は、町民の意見を踏まえ、観光戦略との整合を図り推進すること。



提言２．新たな人の流れの形成と、郷土を愛する「ひと」づくり

1. 学校のあり方・部活動地域展開の推進

・小学校の適正規模・配置は、最適な学びと成長の環境、住民等の声から検討すること。
・中学校部活動の地域展開では、すべての子どもが等しく活動できる環境を整えること。



2. 持続可能な組織づくり

・地域団体等が少人数でも活動を続けられるよう、必要に応じて支援すること。





提言３．安心して働き、魅力と活力にあふれる「環境」づくり

1. 女性・若者が魅力を感じる取り組み

・若者や女性が地域で働き、暮らし、活躍できる環境づくりを総合的に進めること。



・若者や女性の声が町の施策に届く仕組みをつくること。



豊かな暮らしを支える力

有害鳥獣対策や学校のあり方、女性や若者が魅力を感じる取り組みなどの実現に向けて、町長に提言しました。

全文はこちらから
（R８.10 月参照）



提言１．安らぎを感じ、安心して暮らせる「まち」づくり

1. 有害鳥獣対策の推進

・捕獲体制強化と適正処理を、町民の理解を得ながら進めること。
・ＡＩやドローン等活用の実証と導入を進めること。
・公園や里山を安全に利用できる環境を整えること。



管外行政視察研修報告

産業建設常任委員会（7月15日～17日）

1、福島県金山町

マルチワーク「奥会津かねやま福業協同組合」を設立し、国の制度を活用して人手不足解消と移住・定着を両立させている。派遣労働者の待遇改善により優秀な人材を確保し、定着率は85％に達する。繁忙期の調整などの課題はあるが、担い手確保や関係人口創出の手段として非常に有効な取り組みである。

2、新潟県十日町市

合併に伴い生じた空き校舎を、地域資源や住民・企業の連携により利活用している。女子サッカーチーム「FC越後妻有（つまり）」の選手が移住し、棚田保全と地域活性化を担う事例や、「大地の芸術祭」を通じアートによる地域活性化など、地域資源を価値に換える地方創生のモデルを確立している。

まとめ

両市町の取り組みは、地域の課題や資源を前向きに捉え直し、人材確保や地域活性化につなげている。当町の人口減少対策や未利用施設の利活用、地域資源を生かしたまちづくりを進めるうえで、大変示唆に富む研修となった。



廃校利活用を学ぶ（十日町市）

総務厚生常任委員会（7月28日～30日）

1、新潟県聖籠町

豊かな工業地帯の税収による強固な財政基盤を持ち、安価な地価と近隣市への通勤通学の利便性から子育て世代の移住が進んでいる。行政と地域団体が一体となった「聖籠いきいきプロジェクト」を展開し、平成8年度からの「子育て支援金」など先駆的な少子化対策を行い、「暮らしやすさ」が評価されている。

2、福井県池田町

人口約2千人の規模を生かし、自然と地域連携を取り入れた「池田町らしさ」を追求した施策を実施し「いけだ暮（くら）しLASSEL（っせる）」による移住相談・仕事・住まいのワンストップ支援や地区長との事前面談など手厚い定住サポートを徹底する。町全体で支える「ママ・ファースト運動」や、直売施設（まちの駅）を活用した6次産業化も盛んである。

まとめ

聖籠町の町民目線に立った組織横断的な施策検証と長年の子育て支援、池田町の地域住民と連携した丁寧な定住促進と独自の地域活性化は、今後の当町のまちづくりや議会活動を行う上で非常に参考となった。



移住施策を学ぶ（池田町）

広報特別委員会 町村議会全国広報研修（東京都 8月28日）

全国から広報担当議員が集まり、事例を基に広報紙のリニューアルの狙いと効果、直感的に魅せる紙面づくりの視覚的効果の比較例を聴講した。

また、山形県川西町議会が編集・作成方法の実践事例として発表した。県内各地からも多数の議員が出席し全国コンクール16年連続入賞、3度の最優秀賞を得た先駆的事例に刺激を受けるなど、有意義な研修となった。



編集後記

▼今年は全国各地で地震や台風、記録的な豪雨などが頻発し、大きな被害を受けました。一日でも早く復興・復旧が進むことを願うとともに、被害にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

当町でも7月に豪雨災害が発生しました。今定例会で災害復旧費用を可決しましたので、本格的に工事に取り掛かることを期待します。

▼今年はクマなどによる農作物被害が少なくなっています。昨年に多額の費用をかけて対策した結果の現れかと推察しますが、実りの秋を迎え、更なる警戒を続けましょう。

（佐々木）

広報委員
委員長 佐々木誠司
副委員長・編集長 衣袋正人
委員 山田仁
委員 笹原俊一
委員 横山和浩
印刷・㈲梅津印刷

次の定例会は12月です

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男　編集 議会広報特別委員会
〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地　電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp　HP http://www.town.shirataka.lg.jp/1053.htm